



「準備」の大切さ

副校長 青柳 英樹

サッカーのワールドカップロシア大会が、現地時間の6月14日に開幕します。小学4年生の時からサッカーをやっていた私には、とても興味のある大会であり、テレビでの観戦を楽しみにしています。すべての放送を観戦することはできませんので、見たい試合の日時を調べ、その放送を見るために見通しをもってやることを終わらせる段取りをつけたり、深夜や早朝の放送ならビデオの予約をしたりするなど、自分なりの準備をして、テレビ放送での観戦を楽しもうと思っています。ワールドカップそのものの準備は、運営面をはじめ、出場する各国のチームづくりや代表選手のコンディションづくりなど様々な面があり、その量や範囲はとても計り知れませんが、たくさんの準備があるからこそ大舞台上で各国の選手が躍動し、世界中の人々が楽しめるのではないかと思います。そのような準備に比べると私の準備はとても小さいですが、小さいなりに準備をすることによって、ワールドカップ観戦を思う存分楽しめるのかなと思っています。

子どもたちの活動も同じことが言えるのではないのでしょうか。5月は、1年生の舞岡公園遠足、2年生の野毛山動物園遠足、3年生の海の公園遠足、4年生の日本丸宿泊体験学習、5年生の清水宿泊体験学習がありました。どの活動も、当日だけのことではありませんでした。当日に向けた準備の活動がたくさんありました。クラスや学年の友だちとグループをつくる、計画を立てる、めあてをたてる、役割分担をする、しおりをつくるなどのたくさんの準備を行っていました。休み時間には、実行委員を中心とした学年代表の子どもたちが真剣な表情で活動していました。これらすべてが当日につながる大切な活動です。準備があるからこそ、当日が充実するのだと思います。2・3・5年生の活動の引率をしましたが、子どもたちの楽しそうな顔、満足そうな顔が印象的でした。しかし、ワールドカップ同様準備をするのは子どもたちだけではありません。保護者の皆様の準備も欠かすことができません。前日までの必要な持ち物等の購入や氏名の記入、荷物の確認、早朝からのお弁当づくりなど、どれも子どもたちのための大切な準備です。子どもたちの活動を支えていただき、心より感謝いたします。残念ながら当日欠席となったお子様もいますが、事前の活動を通して身に付けた力は、必ず今後には生かされると信じています。

6月は、いよいよ6年生の出番です。1年生から5年生も日々の活動の中で、ワールドカップに勝るとも劣らない躍動をめざして、準備を大切にしていきたいと考えます。